

## 講演会・カンファランス等のご案内

### 北九州地区小児科医会のご案内

#### 第570回北九州地区小児科医会例会 (WEB開催)

日時：2021年6月17日 (木) 19:15～20:30

演題：「腸内細菌と脳腸相関」

演者：九州大学大学院医学研究院 心身医学

教授 須藤 信行 先生



▼ZoomによるWEB配信を予定しています。 [https://zoom.us/webinar/register/WN\\_lcmH5tucQ9SuZ-1GSKU1zA](https://zoom.us/webinar/register/WN_lcmH5tucQ9SuZ-1GSKU1zA)

上記もしくはQRコードより登録を行ってください。

#### 第571回北九州地区小児科医会例会 (WEB開催)

日時：2021年7月15日 (木) 19:00

講演1：「小児期の神経筋疾患の分類と診断」 (仮)

演者：産業医科大学 小児科学教室 助教 福田 智文先生

講演2：「DMD の診断ポイント

～かかりつけ医の先生方に向けて～」 (仮)

演者：鹿児島大学 医歯学総合研究科

小児科学分野 助教 丸山 慎介 先生

<要事前申込>連絡先：日本新薬(株) FAX.093-551-3673

必要事項：①施設名②受講者名③メールアドレス

### その他講演会などのご案内

#### 第 437回小倉小児科医会臨床懇話会(Web 講習会)

日時：2021年6月24日 (木) 19:00～

場所：WEBのため、事前申し込み

演題1：「予防接種における間違いを防ぐために」

演者：北九州市立医療センター 小児科 明 祐也 先生

演題2：「嚢胞腎 (PKD) を見つけたら」

演者：北九州市立医療センター 小児科 渡辺 ゆか 先生

#### 第 438回小倉小児科医会臨床懇話会(Web 講習会)

日時：2021年7月8日 (木) 19:00～

場所：WEBのため、事前申し込み

演題：「小児外科 Up to date」

演者：小倉南メディカルケア病院 小児科 窪田 正幸 先生

<要事前申込> 連絡先:小倉医師会 TEL.093-551-3181

#### 第32回日本小児科医会総会フォーラム in 福岡 (WEB開催)

日時：2021年6月26日 (土)・27日 (日)

詳しくはHPを参照ください <https://jpa2021.jp/>

#### 第30回日本外来小児科学会年次集会 (京都市WEB開催)

日時：2021年8月21日 (土)・22日 (日)

詳しくはHPを参照ください <http://sagpj30.umin.jp/>

#### 第31回全国病児保育研究大会 in 北九州 (WEB開催)

日時：2021年10月9日 (土) 10日 (日)

詳しくはHPを参照ください

<https://hoiku2021.com/registration/>

### 産業医科大学カンファランス・セミナー

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

[j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jp](mailto:j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jp)までご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：6月14日 (月) 19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：治療可能となったNICUで診療する骨系統疾患 Update

演者：産業医科大学小児科 荒木 俊介 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：6月24日 (木) 18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：これだけはおさえておきたい！糖代謝異常

演者：産業医科大学小児科 島本 太郎 先生、多久 葵 先生

齋藤 玲子 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：7月8日 (木) 18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：当科における妊孕性温存の試み

演者：産業医科大学小児科 浅井 完 先生、中島 健太郎 先生

本田 裕子 先生

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：7月12日 (月) 19:00～

場所 産業医科大学大学2号館2208教室

演題：忘れがちだけど以外に発生が多い寄生虫症

-肺吸虫症症例を経験して-

演者：産業医科大学小児科 緒方 愛実 先生、多久 佳祐 先生

保科 隆之 先生

## 保険診療メモ (202105)

### 学校健診と精密検査について

今月は学校健診後の精密検査受診時の注意点について確認します。多くの診療所の先生方が小児生活習慣病予防健診の精密検査や腎臓病検診に携わっておられると思います。前者については2014年5月に保険診療メモで報告しましたように、2013年の九州小児科審査員連絡協議会での検討の結果、脂質系、尿酸、HbA1c、インスリン (IRI) などの検査を行う場合は小児肥満症だけでなく、それぞれ疑われる傷病名を記載いただくようお願いしています。レセプトのコメント欄に「健診 (検診) 精査」や「書類に記載ある項目を検査した」など記載される医療機関が散見されますが、傷病名がないと査定となります。

後者の腎臓病検診については、長年の経緯より福岡県では以下のように取り扱っています。傷病名欄に血尿、蛋白尿などを記載し学校健診精密検査など適切なコメントあれば、「九州学校腎臓病検診マニュアル (第4版)」に記載されている必須項目と選択項目の一部 (IgA) の検査は認めています。具体的には、血尿単独で、BUN (尿素窒素)、Cr (クレアチニン)、補体 (C3)、IgAを、蛋白尿単独、蛋白尿+血尿の場合はBUN、Cr、総蛋白、アルブミン、補体 (C3)、IgA、尿蛋白定量、尿クレアチニンが対象となります。一方、選択項目の末梢血、赤沈、尿酸、総コレステロールなどは、それぞれの検査において疑われる傷病名の記載をお願いしています。特に、腹部超音波検査は形態的異常を表す傷病名が必要になります。加えまして検査の回数にも注意が必要です。例えば同日に2回までの検尿は、早朝尿、外来尿で体位性蛋白尿の鑑別と推察し新たな傷病名がなくても認めています。しかしながら同日に3回以上、複数日に複数回行う場合は、適切な傷病名やそれぞれの患者について必要性をコメントもしくは詳記記載してください。傾向的な検査、画一的なコメントにご注意ください。

繰り返しになりますが、書類に記載されている検査項目や回数すべてを傷病名、血尿、蛋白尿+検診精査のコメントで保険診療として認めているわけではありません。疑われる傷病名を記載することが基本ですのでご注意ください。併せて2017年10月の保険診療メモ「学校検尿陽性者の検査と傷病名」もご覧ください。今後、審査方法の変更 (本年9月からAIが搭載された審査支払新システムの導入が予定されています) により、審査基準が全国的に統一された場合どのようになるかは私たちも注視しているところです。

(福岡県小児科審査委員連絡会)



## 役員会報告 (6月3日：木曜日)

### 新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換・協議を行ないました。

6月3日議事録：

7月以降のCOVID-19ワクチン接種体制に関して、会場の問題として空調等の問題があり、熱中症対策としてコレットの8階を使うというような話がある。西日本総合展示場よりは広く、18レーンくらいは取れそうであり、出務された方はわかると思いますが、総合展示場はエアコンが聞きにくく、環境が悪いようです。

また、各接種場で色々なトラブルがあるようです。

3回接種されたなど。(2回接種が終わったかどうかのチェックができなかったのかということでしたが、認知症の方で、対応が非常に難しかったようです)

その他、今後はエッセンシャルワーカーなどの接種もされていくようです。個別接種に関しては、開業医が行っていくためには、ファイザーのワクチンでは6の倍数人数しかできないという問題がありますが、以前より保管に関して期間が伸びており、そういった融通はききやすくなっています。

Q:福岡市は個別接種になっていますが、北九州はできなかったのか。福岡市では、眼科など、通常ワクチンもしないようなところまで参加しているの、ホントにできているのだろうかということ。

A:まず、福岡市の個別接種が非常にうまく行っているわけではないようです。北九州市で個別接種を選択しなかった理由は、最初のスタートに関しては、搬送の際に無駄になることなどを検討して、集団でやるほうが効率が上がるという判断で、されています。福岡市はその判断ができなかったということが背景にあるようです。北九州市がまとまってできているねということです。ただ、細々とした問題も出ていよう、大きな事故はありませんが、アナフィラキシーなどが複数件起こったときに救急車に対応できるのかといった問題が、解決できないまま福岡市では行われていると聞いています。ただ、そのあたりの解決は難しいところもあり、あえて、北九州は集団接種を選んだという事になっています。

今後に関して、7月の集団予防接種はレーン数は減らして、各医師の出務の回数は半分くらいになるように計画している。また、医師1人に対して、看護師の数を少し増やして行くような方向で検討されているようです。7月からはエッセンシャルワーカーの接種をメディアドームのみと決まっているようですが、穴生ドームなども検討している。地域支援病院等にまずはお願いできればということが考えられているが、それでも対応できない場合に医師会のA会員にということになりそうです。

個別接種に関してWEBで説明会があるので、そこで聞き逃しても見れるようにはするといっていました。医療機関のうち、回答があったのが8割程度で、自分のところでも個別接種

をするということも検討されているようです。また個別接種に後ほどからの途中参加も認められるようです。

また、集団予防接種での現状での問題点は、予診医が不可問診になっている人が増え、その対応を指定された病院で行われているが、そちらが負担になっている。

はやく出務してもらい、予診に関しての説明を行われることになっている。また、副反応担当医等でダブルチェックもすることになり、不可問診を減らすように検討されている。

週に120-150人など人数が増えると、委託料が増えるようになっている。(10万増やすなど)ただし、4週間以上続ける必要があるなど、付帯条件があるようです。

集団接種だと、分注されたものが準備されるが、個別接種だと自院の看護師が分注する必要があり、誤接種や分注する負担が心配になる。土曜日の午後や日曜日などにワクチン接種のみとして(診療は行わずに)やるのもどうかという話をやっているところもある。(診察との動線を時間で分けてしまって専従するほうが間違いも少ないのではという考えもある)

12歳以上の小児の接種が始まると、いずれ小児科も参加することにはなるので早くからやるのも手ですし、あとから参加するのも良いかもしれません。

現在交渉中なのは、市の方で登録などを行ってもらえないかということ。今後、小児科医も協力しますということを出してもらっていくのは大切ですね。受診している子の周りを行っていくような協力姿勢を福岡では行われているようです。いずれ、子供に関しては学校の接種など集団も考えられているようですが、まだまだ、対応はできていないのではないのでしょうか。小児が接種する頃には、個別がだんだん中心になっていくのではないのでしょうか。

Q:雑談として聞かれたことですが、子供が死亡ないのに、やらないといけない理由は？と聞かれましたが、どう答えましょう。

A:感染拡大の防止の為ということ。高齢者が接種が終わったら、次には感染拡大防止のため、20-40歳代などに接種を行っていくのが大切になるのではないのでしょうか。そのために学校単位などで接種するものという話も出ている。

Q:個別接種ではワクチンの種類は？

A:現状はファイザーのようです。集配を行っていただけるような業者は見つかっていますし、保管についての決まりが以前より緩くなっているので、集配に関しては目処がついて来たようです(アステムとその下請けのようですが)。もともと、配送に関しての制限がかなりあり、道が悪いとダメ(振動がダメ)なども色々あったようです。



## 役員会報告 (6月3日：木曜日)

## 新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換・協議を行ないました。

Q:7月から新たな接種が始まった際に、小倉医師会では出務表に関してはまだ出ていない。1回目、2回目が混在するので、そのあたりが難しくなってくるようですが。

A:まだ、予定は先が決まっていないようですね。今後航空券の予約をするようなシステムの導入も検討されているようです。各区のスケジュールが決まっていないのは、ほんとに新しい会場が使えるかどうかを検討しているところもある。

夜間の接種もスタートさせるようで、現在は水、木、土、日の日中に行っていますが、それ以外の日の夜間を検討している。病院の先生にお願いすることになるのでしょうか。

MLで流しましたが、子どもたちの風邪症状に関して、学校、幼稚園が登園しないでくれということになっている。今までの感覚だと、保護者が何もなければ、その子は登園、登校してもよいのではということになっていましたが、もう少し積極的に検査をしたほうが良いのではないかという事でした。CCAT (COVID-19対策子ども専門家チーム) のメンバーでは、意見は出ているが、それぞれ捉え方は違うようでしたので。

検査に関しては、なかなか難しいと思いますが、小児科医がもう少し積極的に行なうためには、その後の対応を変更していただかないと、難しい。検査を行うと、同居家族は自宅に缶詰になります。という説明をすると、やめておきますということになってしまう。そういったところの対応を少し検討していただかないと、なかなか難しいということになるのではないのでしょうか。内科では本人なので、行動の制限がしやすいところがあるが、家族にまで及ぶと難しさがあるのではないのでしょうか。PCRの検査結果が出るまでは自宅待機ではなく、できるだけ行動に注意してくださいということにできれば、検査はできるのでしょうか。ただ、頻度としては10%もないのですが、家族が発端でというよりも子供が発端で濃厚接触でということが結構あったようです。幼稚園生であったり、小学生であったり、高校生であったり。

Q:子供同士でうつっていますか？

A:親からもらった子供から周りにうつしていることも数件あったようです。

年齢別の陽性率は出してはいないのではっきりとはわかりませんが、家族内感染で小児が成人より少ないということはないです。ただ、インフルエンザのような感染の仕方はないようです。

Q:教育委員会はどのようなスタンスでやるのかというところを少しはっきりさせてほしいところがあります。風邪症状があっても来ないでということ半分くらいは来なくなるのでしょうか。それでも学校はやるのか。思い切って学校を締めなさいよということなのではないでしょうか？

教育委員会はどうしたら良いのかわかっていない状態ですね。あっても学校を開いておこうとするのかどうか、極端な話ではあるでしょうが、どういうふうに考えているのか。学校のカリキュラム、感染対策で蔓延するのかということころは、あまり発生はしないのではないかと。

A:あったとしては、高校生では感染対策の破綻があったようですが、義務教育の範囲内(小中学校)では感染対策の破綻により発生したことはなく、濃厚接触者や健康観察者と判断することはありません。現在の感染症対策をしていけば、大丈夫ということではないのでしょうか。

その他家族に子供が咳が出てくると、陰性証明がないと会社に行けないなどもあるようですね。

## 役員会報告 (6月3日：木曜日)

### 協議事項・報告事項

1) 今後の例会について：

ZOOM等での開催となるため、北九州地区小児科医会のみでなく、福岡県全体の小児科医会にも案内の配信することになっています。

2) 新入会の方で、ML登録をご希望の方はアドレスとともにご連絡ください。

### 委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継

8月 休会

9月 ワクチンフォーラムWEB配信 田辺三菱製薬

日程・講師未定 (多屋馨子先生または忽那賢志先生)

新型コロナワクチン関連

10月21日予定 WEB配信 株式会社ツムラ

三重大学附属病院 漢方外来担当 高村 光幸先生 (小児科)

(仮) 小児における漢方薬の使い方

11月予定 第一三共

インフルエンザ関連

福岡歯科大学教授 岡田賢司先生予定

12月予定 塩野義製薬

新型コロナ関連演題

2022年

1月 総会

2月 ステムセル研究所 調整中

3月 未定

その他、COVID19のため、委員会は行われておりません。